



対応の仕方



対応の仕方は、学ばないと増えないので、周りの人から学んでいない人ほど、誰に対しても同じ対応しか出来ない人ですよね。ですから、その人の対応の仕方を見れば、どれだけ学んだのか、学べたのか、ある程度予測が出来るし、思考レベルも分かりますよね。



No.2



様々な対応の仕方を学んだ人なら、**様々な視点で、相手の思考レベルに合わせて対応が出来る人**ですよね。ですから、ひとつでも多くの対応の仕方を様々な人から学び、何故その対応の仕方をしたの？その考え方は？基準は？どのレベルで？などと分析すれば、学べる内容や量が増えるし、臨機応変に対応が出来るようになると思いませんか？

それに、自分にとっては普通だと思った対応でも、相手の思考レベルや知能レベルによっては「生意気だ」「懲らしめてやる」「思い知らせてやる」などと怒る人も居るし、妬みや恨みを持つ人、復讐や報復をする人も居ると思いませんか？



No.3



それに、人間を含め生物は、永遠に生まれ変わるのなら、生まれ変わるたびに、様々な人と出会うことになるので、レベルが低い人や知能が低い人が圧倒的に多いので、やられ放題の酷い人生になってしまうかもしれませんよね。ですから、来世に備えて様々な対応の仕方を学んで、臨機応変に対応が出来るように、人間観察をして対応の仕方を学んでも、損は無いと思いませんか？

対応の仕方



2025.08.11



みなかみ源の解説

© みなかみ源事務所